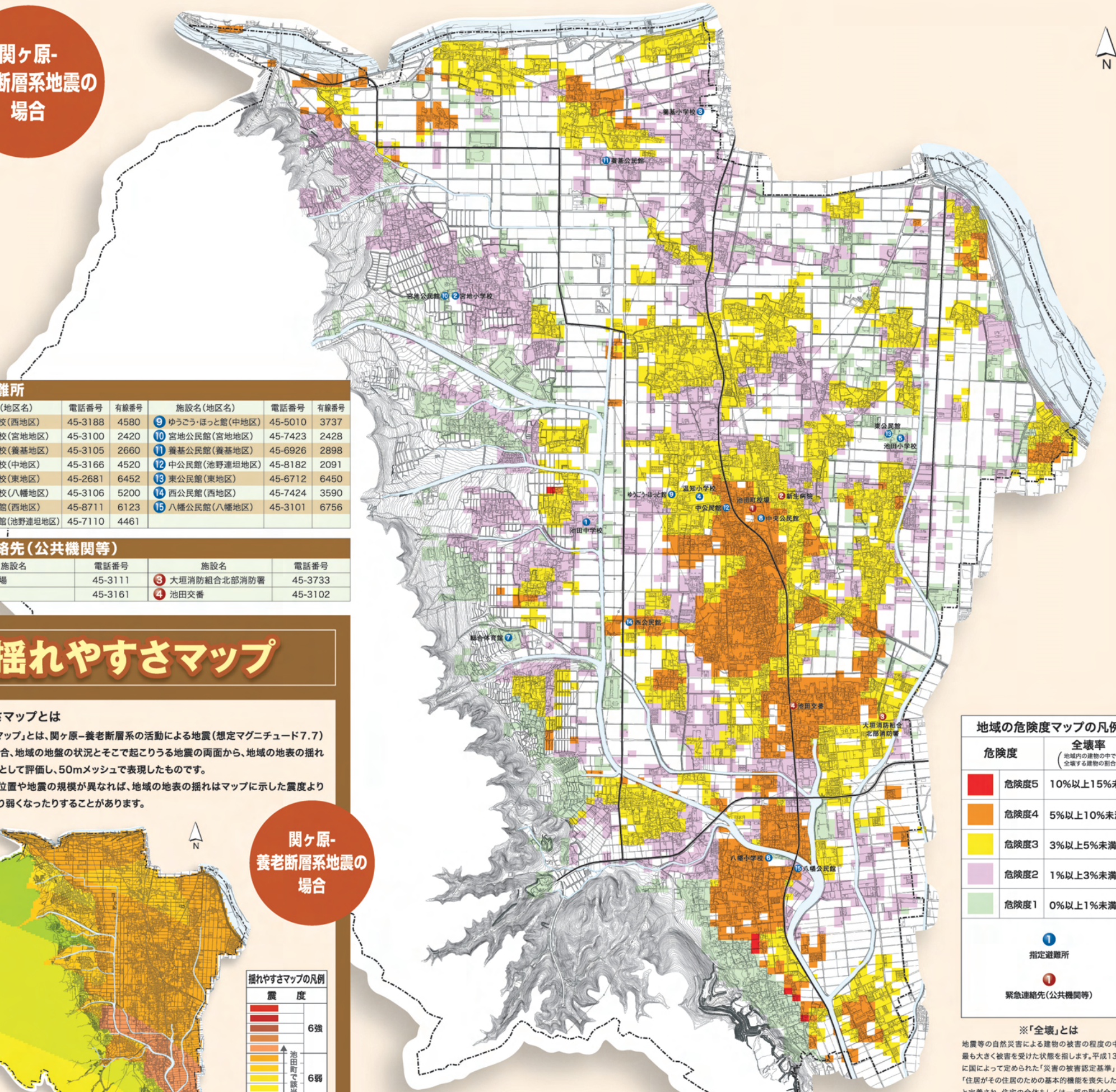
地域の危険度マップ

地域の危険度マップとは

「地域の危険度マップ」とは、「揺れやすさマップ」で示された震度と建物構造(木造・非木造)、建築年次別の建物棟数(平成19年1月)から全壊する建物の割合(全壊率)を算出し、50mメッシュ毎に、5段階の危険度として示したものです。特に、赤色で示した地域ほど、危険度が高くなり、相対的に被害を受ける建物が多いことを示しています。
なお、実際には、地震に対する建物の強さは個々の建物により異なります。そのため、危険度が高い地域であっても耐震化した建物は倒れにくく、反対に危険度の低い地域であっても老朽化した建物は全壊する可能性があります。特に古い木造建物は地震に弱い傾向がありますので、危険度が低い地域であっても十分な注意が必要となります。
古い木造建物にお住まいの方は、耐震診断を受け、必要に応じて耐震補強工事を行うことをお勧めします。

関ヶ原-養老断層系地震の場合



指定避難所

施設名(地区名)	電話番号	有線番号	施設名(地区名)	電話番号	有線番号
1 池田中学校(西地区)	45-3188	4580	9 ゆうごう・ほっと館(中地区)	45-5010	3737
2 宮地小学校(宮地地区)	45-3100	2420	10 宮地公民館(宮地地区)	45-7423	2428
3 養基小学校(養基地区)	45-3105	2660	11 養基公民館(養基地区)	45-6926	2898
4 温知小学校(中地区)	45-3166	4520	12 中公民館(池野連坦地区)	45-8182	2091
5 池田小学校(東地区)	45-2681	6452	13 東公民館(東地区)	45-6712	6450
6 八幡小学校(八幡地区)	45-3106	5200	14 西公民館(西地区)	45-7424	3590
7 総合体育館(西地区)	45-8711	6123	15 八幡公民館(八幡地区)	45-3101	6756
8 中央公民館(池野連坦地区)	45-7110	4461			

緊急連絡先(公共機関等)

施設名	電話番号	施設名	電話番号
1 池田町役場	45-3111	3 大垣消防組合北部消防署	45-3733
2 新生病院	45-3161	4 池田交番	45-3102

地域の危険度マップの凡例

危険度		全壊率(地域内の建物の中で全壊する建物の割合)
	危険度5	10%以上15%未満
	危険度4	5%以上10%未満
	危険度3	3%以上5%未満
	危険度2	1%以上3%未満
	危険度1	0%以上1%未満

1 指定避難所

1 緊急連絡先(公共機関等)

※「全壊」とは

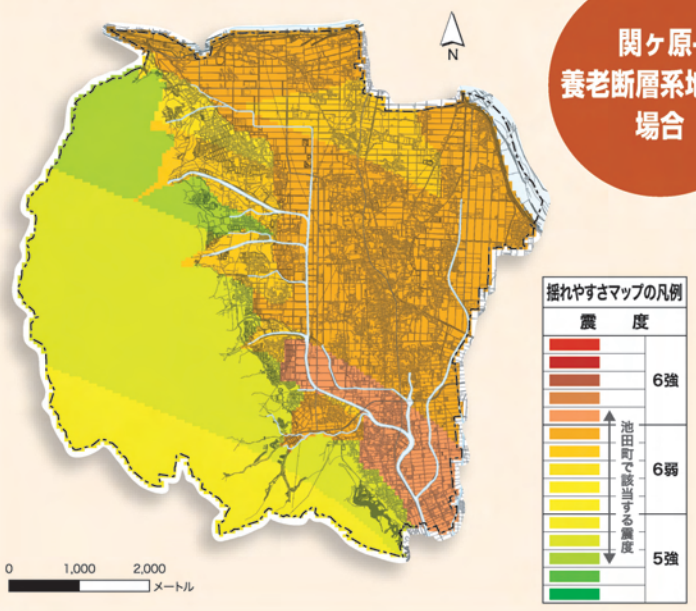
地震等の自然災害による建物の被害の程度の中でも、最も大きく被害を受けた状態を指します。平成13年6月に国によって定められた「災害の被害認定基準」の中で、「住居がその住居のための基本的機能を喪失したもの」と定義され、住宅の全体もしくは一部の階が全て倒壊、外壁や柱の傾斜が1/20以上であるとされています。

揺れやすさマップ

揺れやすさマップとは

「揺れやすさマップ」とは、関ヶ原−養老断層系の活動による地震(想定マグニチュード7.7)が発生した場合、地域の地盤の状況とそこで起こりうる地震の両面から、地域の地表の揺れやすさを震度として評価し、50mメッシュで表現したものです。
なお、震源の位置や地震の規模が異なれば、地域の地表の揺れはマップに示した震度よりも強くなったり弱くなったりすることがあります。

関ヶ原-養老断層系地震の場合

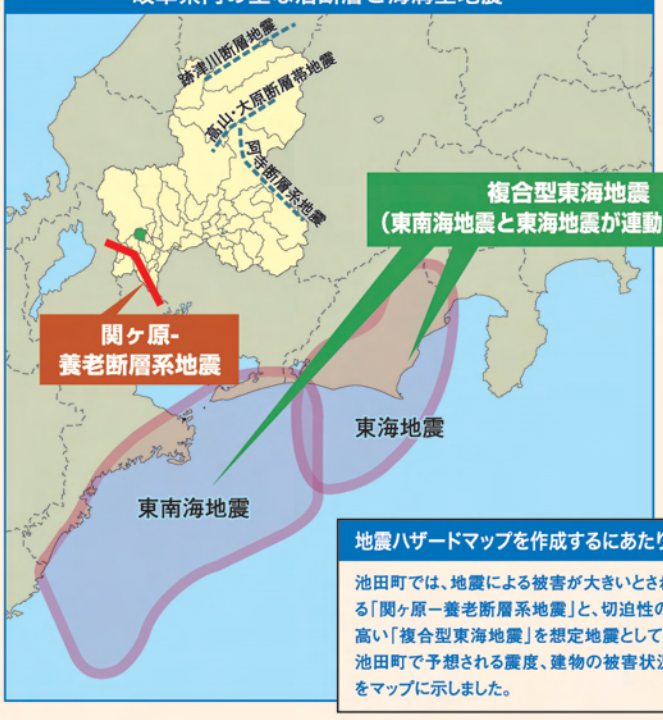


揺れやすさマップの凡例

震度	
6強	
6弱	
5強	

池田町で該当する震度

岐阜県内の主な活断層と海溝型地震



複合型東海地震(東南海地震と東海地震が連動した場合)

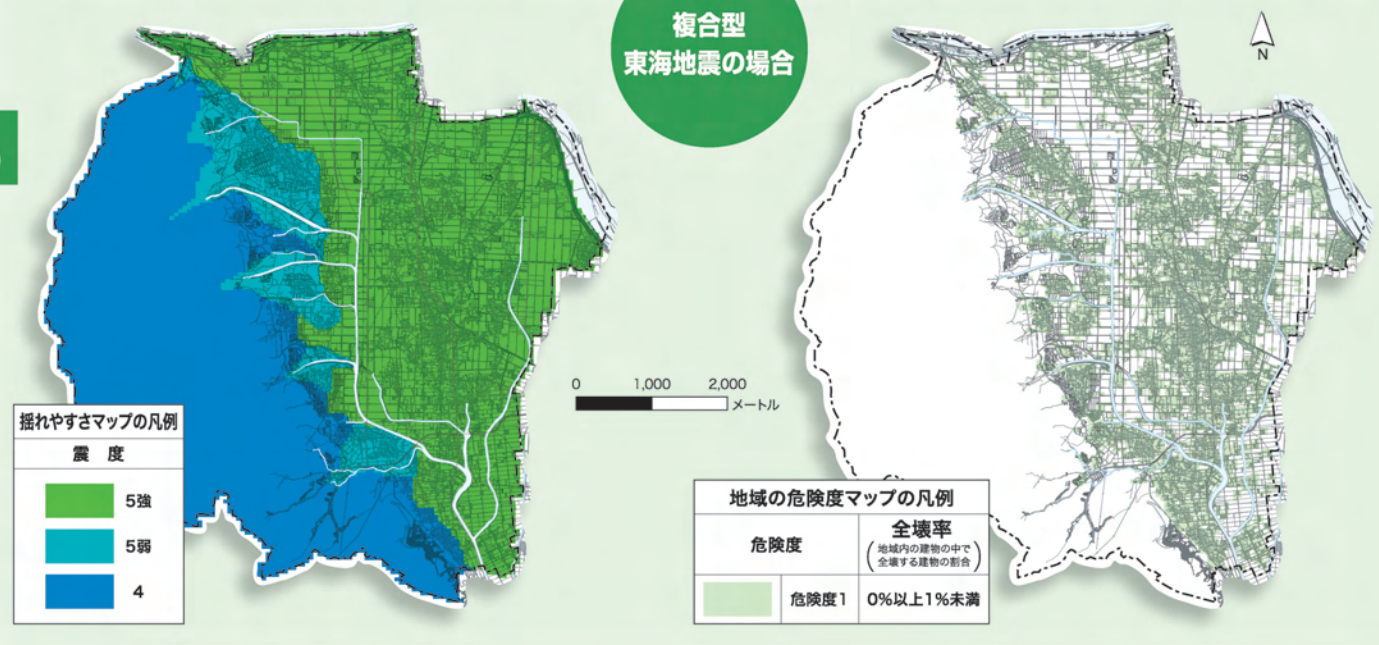
地震ハザードマップを作成するにあたり

池田町では、地震による被害が大きいとされる「関ヶ原ー養老断層系地震」と、切迫性の高い「複合型東海地震」を想定地震として、池田町で予想される震度、建物の被害状況をマップに示しました。

揺れやすさマップ

地域の危険度マップ

複合型東海地震の場合



揺れやすさマップの凡例

震度
5強
5弱
4

地域の危険度マップの凡例

危険度		全壊率(地域内の建物の中で全壊する建物の割合)
	危険度1	0%以上1%未満